

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

②施設・事業所情報

名称：中川こども園	種別：認可保育所	
代表者氏名：竹内めぐみ	定員（利用人数）：80名	
所在地：横浜市都筑区中川1丁目19番1号 中川ISOビル2階		
TEL：045 - 911 - 0011	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/tn/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社こどもの森		
職員数	常勤職員：13名	非常勤職員：7名
専門職員	（看護師） 名	
	（保育士）15名	
	（栄養士）1名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室、ホール、厨房、トイレ、 手洗い場、事務室、更衣・休憩室	空調設備、厨房設備、沐浴設備、加湿 付き空気清浄機

③理念・基本方針

- 1) 基本的な生活習慣を身につけ、健やかな成長を培う。
- 2) 遊びや生活を通して人との関わりを多く持ち、豊かな心情や人を大切にする心を育む。
- 3) 様々な経験を通して豊かな感性や想像力を育む。
- 4) 生活の中で言葉をよく聞き、よく話す環境を作り、言葉への興味や関心を育む。
- 5) 自分の子どもを入りたい園にする。

④施設・事業所の特徴的な取組

最寄り駅から徒歩1分という利便性の高い場所にあります。

年齢別保育室では子どもたちの成長に適した環境を設定し、子ども一人一人の心に寄り添う保育を行っています。幼児クラスはワンフロアを生かし、年齢に関わらず子ども同士が交流し、自然に助け合う姿が見られます。

保護者とのこまやかな情報交換を大切にし、「登園・降園対応表」を利用して担任以外の職員でも子どもの様子を保護者が伝えられるよう工夫しています。

連絡帳のほか、その日のクラス別活動の掲示やフォトフレームを使用し、保育の見える化を図っています。

保護者の負担軽減のため、家庭から持参する物や持ち帰る物を減らしています。

行事の平日開催は極力避け、保護者に見てもらう行事は参加人数等に配慮し、外部の施設を利用しています。

保護者が給食状況を把握できるよう試食会を実施しています。

保育・行事に関するアンケートを実施し、日々の保育や行事の改善・向上に生かしています。

保護者の利用満足度の向上を目的に、自由に記述できる「意見用はがき」を設置しています。

子ども一人一人の心に寄り添い、子ども、保護者、職員みんなが笑顔でいられるよう日々努力しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月11日（契約日）～2021年3月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

- ・持ち物の軽減化に取り組み、利用者の負担を軽くしています
手ぶら登園を推進し、登降園時の持ち物の軽減化を図っています。口拭きタオル、手拭きタオル、うがいのコップ、歯ブラシは保育園で管理し、午睡時のタオル以外はすべて保育園で用意しています。本年度からおむつは業者と提携した調達方法によって、オムツ・おしりふきを持参しなくても良くなりました。利用者の立場に立ち、利便性の向上を図っています。
- ・幼児室にホールを設け、ムーブメントなど様々な活動を通して子どもの興味や感動を与えています
保育の質に関する課題を把握し、改善に向けて話し合い、職員の提案で、3・4・5歳児室にホールを設け、クラスごとや合同で利用できるようにしました。保育園ならではのムーブメント（動きのある活動）、リトミック、体操、音楽等ができるようになりました。職員が演奏するギターやトランペットの音色は子どもの音楽に対する関心を広げています。多様な遊びや活動は幼児期の子どもの心身に多くの興味や感動を与えています。

◇改善を求められる点

- ・保育園全体の自己評価を行い、保育の質を高めていく取り組みが期待されます
職員の自己評価は年2回行い、本人の評価と園長の評価を合わせ、面談して意識の向上、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいます。保育園全体の自己評価について、職員会議において各クラスの自己評価は行っていますが、全体の取りまとめが行われていません。今後、保育園全体の自己評価をどのように行うか、職員の自己評価、クラスの自己評価、保護者の声、第三者評価の結果等を踏まえた手順を検討し、保育の質を高めていくことに生かすことが期待されます。
- ・職員の安定した配置が望まれています
園長は保育業務を円滑に運営するため、子どもの状況やクラスの活動予定等を考慮し職員配置を決めています。毎日、「職員配置ボード」に早番・中番・遅番や保育内容等の配置を決め掲示しています。それぞれ所定時間内に保育等の業務を終えられるよう配置し、併せて効率化に努めています。今回の第三者評価における利用者調査の結果に職員の勤務体制について懸念の声が見られました。事業計画で策定した職員体制を維持し、安定させ、保育業務を円滑に運営することが期待されています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価は、当園としては2回目の受審でした。今回の受審では、全職員それぞれが自己評価チェックを行い、保育園や自分達の保育、利用者との関わりについて振り返り、改めて保育について考える良い機会となりました。

評価結果については、様々な資料、訪問での聞き取り等、細かく見てくださったことがコメント内容で伝わり、感謝の気持ちでいっぱいです。自分たちでは気付けなかった

ことも知る事が出来たので、早速改善していきたいと思います。

保護者アンケートでも様々なご意見をいただき、感謝しております。改善内容につきましても具体的に記入してくださっているので改善することと、丁寧に説明を行うことを大事にしていきたいと思います。

これからも保護者の方のご意見に耳を傾けながら、保護者の方が安心して預けられるように、また子ども達が健やかに成長し、みんなが笑顔の保育園を目指して、頂いた評価をもとに今後も頑張っていきたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり